



【教育目標】

自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成
~~~~ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ~~~~

☆1月の目標

☆安全の「あ」  
健康な自分・・・  
※体力づくりをしよう  
※手洗い、うがいを  
しよう

☆配布物のお知らせ

1 学校便り41号

☆今後の主な予定

- ・1月7日 3学期始業日
- ・1月21日 避難訓練
- ・1月28日 幼稚部節分集会

☆休校の確認について

- ①Snow Emergency が金曜日に出た場合は15:00までに休校。
- ②加えて休校になるのは、スクールバスが1台でも運行中止した場合、金曜日の16:00までに運営委員長が判断。
- ③休校の連絡は、保護者の会連絡網・ホームページで連絡します。

・詳細は、学校要覧又は、ホームページに掲載していますので、ご確認願います。

☆また、休校にはならないが、フリージングレイン(朝の凍結)のお願い・・・

- ・凍結の場合、各家庭の判断となりませんが、危険ですので無理をしないで下さい。
- ・安全が第一です。家族で家庭学習を工夫してがんばる日として下さい。



☆絵日記

二年一組 戸田りょうせい

ぼくは、サンクスギビングの休みにオハイオしゃうへ行きました。さいしょにかごを作りに行きました。おにいちゃん、小さいかごを作って、ぼくは大きいのを作りました。かごを作るのはすごく手がつかれたけど、たのしかったです。かごを作り終わった後、おかあさんがかごをもう一つ買いました。ぼくは二つ作ったのに何で買うんだろうと思いました。  
次の日は、はくぶつかんへ行きました。アメリカの古いまちなみをさいげんしたところがおもしろかったです。古いテレビや電話や自転車がおもしろかったです。

☆絵日記

二年一組 フォスターかいと

ぼくは、イリノイに行きました。おぼあさんとおじいさんの家があるからです。車で四時間かかりました。ぼくは、おてつだいをしました。パンをちぎってから、おやさいのかわをおきました。のこりのごはんはおじいさんがつくりました。ごはんはおいしかったです。  
ぼくは、たんじょうびプレゼントをもらいました。本とシゴをもらいました。みんなでウノをしました。ぼくは一かいかちました。おかあさんは三回かちました。

☆日本とアメリカ

六年二組 金田光太郎

ぼくは、日本とアメリカの違いは、学校が一番多いと思います。一つ目の違いは、パソコンです。日本では自分の分のパソコンがありません。そのかわりに、コンピュータ室があります。自分の分のパソコンがあるから、アメリカでは、手軽に勉強ができます。二つ目の違いは、スクールバスです。スクールバスの良さは、学校まで歩かなくていいところです。三つ目は、ランドセルとリュックです。ぼくはランドセルの方がいいと思います。理由は、六年間も長持ちするし、さらに教科書がびったり入ります。リュックもペットボトルが横に入るからリュックもいいと思います。四つ目は、外で使うくつを学校の中で使います。これは、両方がいいと思います。なぜなら、くつで学校に入ると、くつをかえなくていいので楽です。でも、くつをかえると土やゴミがはいりてくくなります。五つ目の違いは、買い物です。なぜなら、日本では、どこにでもコンビニやスーパーがあります。アメリカは、日本の方がいいと思います。理由は、友だちと行けるからです。六つ目の違いは、アメリカの家にあるガレージです。理由は、冬の時、外に車があると雪をとるのが大変だからです。そう考えるとどっちも悪くないと思います。

☆日本とアメリカ

六年二組 前村 慶介

ぼくは、日本とアメリカを比べて思ったことは食べ物です。日本ではコメを食べるのにアメリカではパンをよく食べます。そして、ケーキは、日本ではだいたいチョコレートケーキかショートケーキですが、アメリカでは、青いケーキや赤いケーキかむらさきのケーキなどあります。そして、日本の学校はクラスが分けられていてすべての授業が同じクラスの人と受けますが、アメリカの学校は、チームで別れ同じになりません。そして、登下校は日本は歩きますが、アメリカは歩くか自転車かスクールバスです。文房具や時間割も違います。家の大きさも違いました。  
ぼくは、この日本とアメリカのいろいろな違いを知りました。まだアメリカに来て四ヶ月くらいですが、他にも違いを知りながら生活をしていきたいと思っています。



私がアメリカの学校に通い始めてまず最初に思ったことは、日本は、すごくきちんとしているんだな」ということでした。私は学校の校則や授業の違いから驚き、そのように感じました。

アメリカの授業は、アイパッドでの授業が基本ということに一番驚きました。日本では、コンピュータ室のパソコンを数回さわるくらいしか画面を見る機会がないのに、アメリカでは毎日見れるので、少しうれしかったのを覚えています。しかも、アイパッドを使うようになってから、コンピュータ室が無くなったことには、しよげきを受けました。

そして、アメリカの自由な学校生活にも驚きました。例えば、ネイルやピアス、かみ染めをしてもよいこと、授業中ものさしや消しゴムをめったに使わないところなど、日本ではありえないことがものすごくあります。あと、先生の字も読むのに苦労するほどきたないので、日本では字がきれいとかあまり言われたこともない私でさえも、なんだかきれいな字に見えてしまいます。しかし、アメリカも意外ときびしいところもあり、短すぎるズボンやスカートをはいていってはダメですし、授業中おならを二回以上したら、オフィス行きというなどのルールもあります。良いことも悪いこともあるアメリカですが、私は、アメリカが好きです。でも、やっぱり日本が恋しいです。



☆四年一組「プラタナスの木」を読んで  
「おじいさんの存在」大橋 岳久

梅雨のころから現れたおじいさんの存在が、気になりました。おじいさんは、あのプラタナスの木の化身か何かではないでしょうか。ぼくがそう思う理由は三つあります。

まず、一つ目の理由は、おじいさんはプラタナス公園のどこかから前からプラタナスの木のことを知っていたことです。もしかすると自分のことだからよく知っているのかもしれない。

二つ目の理由は、夏休みにマーちゃん一人でプラタナス公園に行ったときにおじいさんは木に向かって「みんなよろしく」と言ったからです。まるで、友だちに話しているように感じました。三つ目の理由は、プラタナスの木が切られたとき、おじいさんもいなくなったことです。

もし、ぼくがおじいさんだったら、プラタナスの木が切られるときに止めるでしょう。しかし、切らずにそのまましておくには、子供たちにきけんをおよぼすかもしれないので、たとえば、新しい幹がでてくるまで、立ち入り禁止にすればよいのではないのでしょうか。そうすれば、だれも悲しい思いをせずに済んだと思います。おじいさんがどこにいるかわからないが、楽しくやってほしいです。



☆四年一組「プラタナスの木」を読んで  
飛騨 侑宏

ぼくは、プラタナスの木について、二つに心に残ったことがあります。

まず、一つは、プラタナス公園は、バスケットコートぐらいの広さしかないのに古い大きなプラタナスの木が一本さびしくはえている。そして、地上にはえているほど根が伸びて、いさましいプラタナスの木が心に残りました。

二つ目は、おじいさんが、木がさか立ちしている」と言っていることが心に残りました。理由は、ぼくも初めて気がさか立ちしていることを知り、すごくびっくりしました。このプラタナスに木は、一本でいさましくはえていたけど、台風でたおれてしまったのかなしいかったです。



☆四年一組「プラタナスの木」を読んで  
瀬古 菜名

わたしは、プラタナスの木は、悲しい話だと思いました。それは、最後に台風の影響を受けて、プラタナスの木が切り株だけになってしまったからです。そして、おじいさんの話が勉強になりました。おじいさんは、木は、上にはえている枝や葉をささえるために、土の中でそれと同じくらい大きな根が広がって、水分や養分をおくっていること、もし、地上の幹や枝葉がなくなったら、根は水分や養分を送れなくなると、困ってしまうことを言っていました。根が困ってしまうなんて初めて聞きました。おじいさんは木のことにくわしいと思いました。

この話の中で、私が一番心に残ったことは、おじいさんがとても不思議な人物だということ。マーちゃんが祖父母の家に行く前に、おじいさんは、お父さんのふるさとには、木がいっぱいあるだろう。みんなによるしく」と、マーちゃんに伝えました。この時、木によるしくというところがとても気になりました。よろしくがまるで、友だちのように思えたからです。

プラタナスの木が切り株になってしまったから、おじいさんは公園に来なくなりました。おじいさんは木のようにせいでと思います。切り株からまた、芽がはえるといいなと思います。

